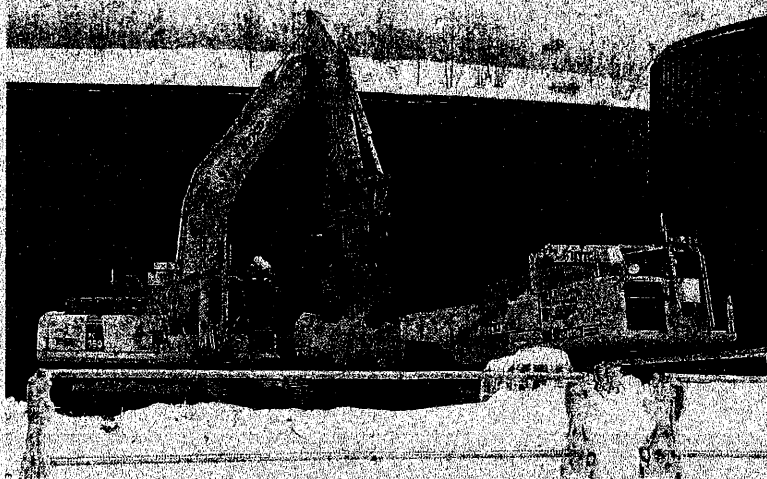


# 無人化施工を見学

## 寒地土木研究所が技術者交流フォーラム

苦小牧



遠隔操作でブロックを運び、持ち上げる重機

### 7月開始 国際線サービス

大手サウスウエスト航空は、自社ブランドによる初の国際線サービスを7

月に進んだことで、エアトランスの路線をサウスウエストのブランドで運航す

る。ダブアルバを結ぶカリブ海路線。年内にメキシコ

のメキシコ市カンクン

る意見が出た。

独立行政法人土木研究所・寒地土木研究所(札幌市)の技術者交流フォーラムがこのほど苫小牧市内などで開かれた。産学官の土木技術者らが寒冷地の無人化施工の試験を行っている錦多峰川2号砂防堰(えん)堤の現場などを見学。無人化施工技術の現状や課題などを情報交流した。

フォーラムは同研究所が毎年企画している。自治体や建設業者、土木技術の研究者など約50人が参加した。今回は、災害発生時に立ち入り制限される危険な現場で遠隔地から無人の機械を使って施工する「無人化施工

試験」の現場を見学した。現場となった錦多峰川2号砂防堰堤では、積雪寒冷地の気象が施工や重機操作に及ぼす影響、長距離遠隔操作の通信確認などを1月下旬に5日間の日程で行った。

参加者は、1個4トンの巨大なコンクリートブロックを砂防堰堤のスリット前に積み上げる作業を現場で見学した。ブロックを積み込んだ無人のクローラードンプを、約25分離れた白老町内の拠点施設からリモートコントロールで動かし、30分ほど先の砂防堰堤前まで運んだ。同じく遠隔操作のバックホーでコンクリー

トブロックを堰堤脇のスリット前に一つずつ積み上げる様子を目の当たりにした。この後、メンバーは白老町の拠点施設を見学。「最近の無人化施工関連技術の動向」などのテーマで研究者が講演し、参加者情報交換をした。

### ベンチャー企業 育成策検討

経産省会議

経済産業省は、ベンチャー企業の育成策を検討する有識者会議の会合を開き、大企業とベンチャーの連携強化に向けた方策を協議した。会議は3月をめどに提言をまと

め、政府が6月に改定する成長戦略に反映させることを目指す。出席した長谷川博和委員(早大大学院教授)は「相互に利益を享受できる環境づくりが重要だ」と述べ、大企業とベンチャーの連携が必要だと考えを強調した。

さらに、長谷川委員は企業の合併・買収(M&A)に当たっては、買収する企業が、買収額と買収対象の企業の純資産額の差額である「のれん代」の償却負担を軽減できるように会計基準を見直すことも必要だと指摘した。

### 尼崎のプラズマ工場売却へ

パナソニック

パナソニックが、プラズマテレビ向けパネルを生産していた尼崎工場(兵庫県尼崎市)の一部

## 指定管理者と意見交換

### 減免や施設補修が課題

苦小牧

苦小牧市は1月30日、とで指定管理者の収入は減り、「例えば補助金という形や人的支援など文化振興方策とも合わせて検討してほしい」との意見が出た。市は「あらかじめ減免相当分を考慮して積算した基準管理費に

理費の中で対応してほしい」とした。